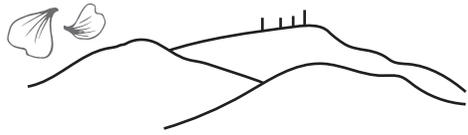


# Youth Manna

2021/5/3 - 5/9



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/5/3(月)

## 使徒 5:27-42

使徒たちは再び捕らえられ、祭司長たちに尋問されます。ここでも使徒たちは大胆にイエス様のことを証しているね(29-32)。彼らに力を与えていたのは聖霊でした。ガマリエルによって死刑は免れましたが、むち打たれて釈放された使徒たちは喜びながら出て行き、毎日、宮や家々で福音を語りました(40-42)。

私たちの中には、信仰を表すことにおいて恐れる気持ちや恥じる気持ちはないだろうか。出て行く前に、まず自分自身が聖霊に満たされることを求めて祈ろう！

また、42節で使徒たちが語ったことはどんな内容だっただろうか？私たちが語るべきことは何か、改めて考えよう！

2021/5/4(火)

## 使徒 6:1-7

信じる人が増えることによって問題も出てきました。ヘブル語を主に使う人が多い教会で、ギリシャ語を使う人も増え、その中のやもめ達への配給が上手くなされずに苦情が出ました。(1)

そこで使徒達は祈りとみことばの奉仕に専念するために御霊と知恵に満ちた評判の良い人達を選び、その務めを任せました。(3.4) 役割の違いはあってもどちらも尊い働きでした。この初代教会は救いの喜びだけでなく問題に向き合う積極的な愛、具体的な愛があったので、ますます福音が広がっていきました。(7)

あなたが出来る具体的な愛は教会を建て上げます！何が出来るか祈ってやってみよう！

2021/5/5(水)

## 使徒 6:8-15

ステパノはやもめの配給が円滑になされるために選ばれた人物であるが、彼の活動はそれにとどまらなかった。御霊に満たされて福音を語り、癒しを行うなど広く用いられていた。9節に挙げられているステパノに敵対した人たちは、奴隷になっていたユダヤ人の子孫であり、海外から帰還した人たちだと考えられる。彼らは異国でユダヤ教信仰を保ってきた熱心な人々であったが、新しく始まったイエスの福音を信じることなく、危険視するほどであった。旧約聖書を信じる彼らにとって、イエスの福音は待ち望んでいた預言の成就であったはずである。しかし彼らは神のみこころを本当の意味で求めていなかったの、福音を喜びを持って聞くことができなかった。

いつも神様のみこころを求めていられるよう祈ろう！

2021/5/6(木)

## 使徒 7:1-16

今日の箇所は、伝道に熱心で、病気などをいやす奇跡も行い、人々から信頼されたステパノが、ユダヤ教指導者たちの反感を買って、ペテロたちと同様に捉えられ、モーセと神を冒瀆した・神殿と律法に逆らうことばをやめない、などの偽りの証人を立てられ裁判にかけられた議会の中でのステパノの弁明である。

前の章の15節では、ステパノの顔は御使いの顔のように見えたことある。危機的状況の中でも御霊に満たされていた姿がわかる。どのような状況であっても、神様に信頼し、従う姿を見習いたいものである。

あなたは今どのような状況、状態ですか？もし大変な中にいるのなら、今一度祈ろう！周りに大変な人がいないかも気を配ろう！

粉ものの日

2021/5/7(金)

## 使徒 7:17-35

▶モーセと神を汚す発言をしたという、嘘の証言によって訴えられたステパノが弁明している続きだ。ここでステパノは、おもに2つのことを伝えている：

①イスラエルの民はモーセを受け入れなかったこと(28,35)

②神がモーセを遣わした事(34,35)

▶このモーセの姿はイエスと重なる。神が遣わしたイエスを、人々は拒絶して十字架につけた。しかし、神はイエスをよみがえらせ、救い主として立てられた。ステパノは、「イスラエルの負の歴史」を超えて働かれる神のみわざを訴えた。

▶多くの人たちは自分の考えを優先したので、神様の御心がわかっていなかった。毎日聖書を開き、神様の御心は何かを思い出し、主に目を向けよう！

2021/5/8(土)

## 使徒 7:36-50

ステパノはモーセの時代の話から始めて、今イエス様が十字架で全ての罪を負い、よみがえってくださったことにより救いが達成されたことを説明しているね。

イエス様が死んでくださった時、至聖所の幕が裂けた。"しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。"とステパノが言うように、イエス様の救いによって、礼拝場所は神殿でなくてもよくなり、祭司が民の代わりにささげ物をする必要もなくなった。それは、神殿で利益をあげていた人にとって都合が悪く、怒りを覚えるものだったんだね。それでもステパノは大胆に真実を語った。イエス様が与えてくれた新しい礼拝の時代は今も続いているね。

私たちが大胆に主を礼拝し、イエス様の真理を語る者とされよう！

2021/5/9(日)

## 使徒 7:51-60

ステパノは御霊に満たされ、神様の右に立たれたイエス様を仰ぎました。通常であればイエス様は御座に座っていますがこの時は立ち上がり、愛するご自分のしもべのステパノを天に迎え入れようとしていました。彼の霊が肉体から離れる直前に、彼は「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と祈りました。ステパノが人々を愛し、彼らが悔い改め、救われることを求めていたからです。

神様は私たちにも、敵対する人、迫害する人を愛し、とりなすように命じておられます。ステパノのように私たちも、自分を嫌う人であっても神様の愛によって愛することができるように祈っていきましょう。御霊に満たされて歩むことを追い求めましょう！